

コンポストに登場する 虫たちの対処法 -幼虫編-

幼虫が出てても害はありません

白色や薄い黄色のよう虫は、コンポストに入った生ごみをよりはやく堆肥にしてくれる働きもののお掃除屋さんです。

目には見えないほど小さな微生物たちだけでは追いつかないとき、またはアメリカミズアブの成虫が産みつけた卵が孵化したときに、ひょっこり出てきて活動しています。それでも、極力会わないようにする方法をいくつかご紹介します。



幼虫
新たな居場所を求め、
たまに脱走することも…



成虫
アブの仲間です。けど刺しません。
次の命に繋げるために初夏あたりから
忙しく飛び回ります。
コンポストの縁に黄色の小さな卵を見かけ
たら、払い落としてもらえば幸いです。

コラム

子を想う親のころ

アメリカミズアブの成虫は、口が退化してしまい見分けのつきにくいコウカアブのように花粉を食べたり、ハエのように舐めたりすることができません。また、彼らはハチのように口渡して子どもを養う術を持っていないため、生まれてすぐにひとり生きていく我が子たちの環境が少しでも栄養豊富であるようにそういった場所を求めて必死に飛び回っているようです。



1.お酢をかける

ツンとくる、きついいにおいが苦手なので3倍ほどに水で薄めて吹きかける方法。



3.草木灰を投入する

コンポスト内のpHをアルカリ性にする事で、生物が苦手な環境にする方法。堆肥として使う場合にはpHの調整が必要になります。



2.発酵促進剤を使う

生ごみ発酵促進剤を使うことで、高温の状態を保ち、虫の発生をおさえる方法。
また、EM活性液でも代用可能。



4.塩を入れる

容器内の中性～弱酸性のpHを一気にアルカリ性にする事で生物の生活を制限、停止させる方法。植物にも影響しやすいので、堆肥として使えなくなるリスクあり。

5.2,3日投入を休む

容器内に入った生ごみの分解が幼虫たちの役目なので、いったん彼らのお仕事が落ち着くまで投入を休んでみてください。